

【 2025 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

目的：浜松磐田地区の聖隷福祉事業団のこども園・保育園及び関連法人のこども園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

評価日・評価者

評価日 2025 年 11 月 5 日

評価者 園 名 聖隷こども園ひかりの子

役 職 園長 氏 名 岡田 絵里子

評価者 園 名 聖隷こども園こうのとり東

役 職 園長 氏 名 平野 春江

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

職員が保育・教育理念の理解を深め、同じ方向を向いて協働する為に様々な会議の中で学びの時間を設けている。毎年の取り組みにより園長をはじめ職員全体の想いの共有が積み上げられているのを教育・保育から感じ取ることができる。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

子ども一人ひとりの成長・発達、興味・関心に応じた配慮や関わりを行うための保育の方法や環境構成が考えられており、園児の人権や尊厳が守られている。

**【情報保護】**

個人情報の保護は適切であるか。

毎年、マニュアルの見直しが適切に行われている。また、会議等で、マニュアルの共有化や学びの時間を計画的に実施している。

**【苦情対応】**

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

マニュアルに沿って適切に対応している。苦情だけではなく保護者からのご意見等も職員間で共有し教育・保育に反映している。

**【保健・衛生】**

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

看護師が年間計画を立案し職員への保健・衛生指導の徹底を行ってる。

**【安全】**

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

年間計画を立案し、様々な災害を想定した訓練を実施している。また、不審者訓練等も行い、防犯に努めている。安全委員会を毎月実施し、事故・ヒヤリハット等の検証を行い、再発防止に努めている。

### 【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

園舎の経年劣化・老朽化もあり修繕箇所は多いが、優先順位をつけて計画的に対応している。

### 【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

玄関周り（外・室内）には、花が飾られ明るい印象を与えている。園内外は清掃が行き届いている。また、保育室内は整理整頓がなされ壁面には、子どもの作品で彩られている。

### 【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

各年齢発達に応じた玩具が用意されている。限られた保育室のスペースでも保育者の工夫により、様々なコーナー（知育、見立て、構成、製作が等）が設定されており、子どもが自ら興味のある遊びを選択できるような配慮が来ている。

### 【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

- ・ 神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・ 大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・ 意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

## 1 歳児

- ・ 保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・ 歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

## 2 歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

## 3 歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

## 4 歳児

- ・ 保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・ あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

## 5 歳児

- ・ 一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・ 共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

各歳児とも個々の育ちの保障と共に保育者や友達と過ごすことの心地よさを感じられるような配慮が感じられる。乳児（特に0歳児）の心身の安全を図る為に食事の介助方法や環境設定は重要である。成長と共に定期的な確認が必要である。

どの年齢においても日課や保育環境、生活の仕方等を考える際には、子どもにとってどうであるかを常に念頭において今後も邁進して頂きたいと思う。

### 【全体を通して】

理念が具体的な保育へと繋がっており、一人ひとりの育ちが保障される保育の方法や環境が考えられており、その中で子ども達はのびのびと自己発揮しながら過ごしているのが印象的でした。すべての保育者が子どもの育つ力を信じて、対話をしながら（子どもの表情、目線、しぐさ等も含む）ゆったりと導いていくことを大切にしており、雰囲気として穏やかな温かみのある園である。今後も、常に理念に立ち返りながら質の向上に努めて頂きたい。